

令和5年度 第1回東区まちづくり懇話会議事録（要旨）

1 開催日時

令和5年（2023年）8月3日（木） 午前10時

2 場 所

秋津公民館 ホール

3 出席委員（順不同）

宮部、濱部、門川、村井、戸上、西森、平野、飯田、有働
小杉、西山、安部、西原、新崎

4 次 第

- (1) 会長・副会長選出
- (2) 令和4年度の東区まちづくり懇話会開催結果について（報告）
 - ・東区まちづくりビジョンの検証結果について【資料3-1】
 - ・東区まちづくり懇話会ワークショップ報告書【資料3-2】
- (3) 令和5年度の東区まちづくり懇話会の予定について【資料4】
- (4) 令和5年度の東区まちづくり事業について【資料5-1、5-2】

議事発言要旨

- 事務局

次第に沿って議事を進めていく。

議事（１）会長・副会長選出について、懇話会設置要綱第５条の規定により委員による互選となる。

- ◎ 委員

有働委員から、会長に西森委員を推薦する。

西森委員から、副会長は安部委員を推薦する。

- 事務局

ご賛同頂ければ拍手をお願いします。

《全員拍手》

それでは、会長は県立大学准教授の西森委員に、副会長は東海大学准教授の安部委員に決定する。

- 事務局

今後の議事につきましては、西森会長をお願いします。

- ◆ 会長

議事を進めます。

議事（２）「令和４年度東区まちづくり懇話会について」説明をお願いします。

- 事務局

【資料３-１】【資料３-２】について事務局から説明。

- ◆ 会長

事務局からの説明に対し、委員から御意見、御提案は無いか。

- ◎ 委員

市民アンケートの対象者が１６歳以上無作為に２,０００名にされているのは良い事だなと思う。高校生が入っている若い世代の回答率はどのくらいか？

● 事務局

16歳～19歳は3.1%となっている。

◎ 委員

3%は高い数値なのかと思うが、SNS などもう少し若い人達にどうしたら響くのか参加を促す工夫が、より、良くなっていくのではと思う。

◎ 委員

防災で体育館などの一時避難場所の床が痛い、ガラス張りが怖い、場所が広すぎて恐怖を感じてしまう。大規模な避難所でなく、小規模から始めたら安心感が出ると思う。

● 事務局

災害の規模にもよるし、各施設の管理者・避難所責任者等の判断もあるので、危機管理課に今の意見を話しながら良い方向へ対応していく。

◎ 委員

東区は5区でどのようなポジションか？

東区としてどういう所を目指しているか？

東区らしさの活動とかが見えると、一緒に話ができると思った。

● 事務局

人口も一番多い区。

東区の良さは、たくさんの自然があり住みやすさがある。利便性の高いまち住みやすい土地東区に、多くの人が住んで頂けるようにしていきたい。

◎ 委員

子どもができてから、地域との関わり合いが増え、住みやすいと思うようになった。若い世代が関わっていける地域になればいいと思う。

● 事務局

東区は比較的若い世代が多い。ここを揺らすような活動ができればと思う。

◎ 委員

何が、どこで、どんな事が、どの様に活用できるかがわからない。知る機会も少ない。見える化で情報発信して欲しい。

現場が見えるような情報発信をお願いしたい。

● 事務局

広報のプロジェクトチームを発足して、SNS や区のホームページを作っているが、なかなか市民に届かないので、皆様にご意見を頂きたい。

◎ 委 員

ゴミもアプリで確認できるが、アプリがある事さえ知らない人がいる。世代別で活用できるサービスがわかるものがあつたらいいが。

● 事務局

LINEアプリ等ありますが、従来の紙を求められる方もいる。紙など併用しQRコードの活用をしていく。インスタで東区の魅力を発信し、新しい事に取り組んでいきたい。

◎ 委 員

発信力を上げて、全世代がわかりやすいものにして頂きたい。自治会についての魅力など若者世代は知らないし、わからない。

● 事務局

高齢者は自治会が役に立っていると認識している人は多い。若者世代と高齢者とのつながり方を探していく。

● 事務局

今後検討していく。

◆ 会 長

後ほどまたご意見を伺います。議事(3)「令和5年度の東区まちづくり懇話会の予定について」に移らせていただく。事務局より説明をお願いします。

● 事務局

【資料4】について事務局から説明

◆ 会 長

事務局からの説明に対し、委員から御意見、御提案は無いか。

◎ 委 員 懇話会は1・2年先か10年先を見据えているのか、この先東区の50年先なのか。どちらが主なのか。

● 事務局

次年度以降の事業計画について御意見をいただいている。長期的に考えるもの、来年度取り組めるもの、御意見いただきながら考えていきたい。

◆ 会 長

議事（4）「令和5年度東区まちづくり事業について」説明をお願いする。

● 事務局

【資料5-1】【資料5-2】について事務局から説明。

◆ 会 長

事務局からの説明に対し、委員から御意見、御提案は無いか。

◎ 委 員

報告で、その事業にどれくらいの人に参加したのか、どれくらいの人を目標にするのかを書いて欲しい。

事業内容は書いてあるが、事業の目的は何なのかも書いてもらえれば分かり易い。

● 事務局

今後、検討する。

◎ 委 員

生活中心の活動が多いが、子どもたちを中心にした活動をしたらどうか。

世代別にやってみたい場所を作ってあげると、人が集まり活性化するのでは。

● 事務局

マンガ等活用して子どもたちが興味を引くよう、今後も進めていく。

◎ 委 員

情報発信で子どもたちや若い世代に伝えるツールをどう使うか。

若い世代は、短く伝えるものしか見ない。

予算削減や人材不足あるが、地域包括との連携を民間の方を使い対価を払ってもい

いのではないか。

● 事務局

ICTについては、自治会の方も必要となっていており、自治会向けのICT講座を実施した。今年度も継続する。

民間の力を借りる件は、地域と企業のマッチングを東部まちセンで行っていた。今年度は、東区全体でやっていく。

◎ 委員

基本方針事業でR4もR5も事業費が0とあるが、細々でもいいのでやっていって欲しい気持ちもある。

託麻八十八ヶ所が3年後に100周年なので何か企画を考えている。

情報発信については、若者へは“ハッシュタグ”を使って直で発信した方がよい。

また、ホームページ上に総合案内版として、人が対応するチャットを作り使ってもらえるのはどうか。

● 事務局

LINEにはチャット機能がある。ホームページにはまだない。

予算0円事業については、子どもたちに対する情報発信が重要だと考えているが、SNS等での情報発信については費用がかからないので、このような形で残している。

◎ 委員

今の自治会は世代間交流が無い、感じられない。

お互いが交流しやすいようにしなければいけない。

● 事務局

東区の自治会加入は80%。

ビジョン検証の中で、アンケートで地域活動に6割が参加していない。仕事やコロナの影響もある。だが8割の方が参加は必要と感じている。

何故参加しないのか？コミュニケーションが苦手・仕事が忙しい・地域で何をしているのか知らないとの意見が多かった。どのような地域がどのような活動をしているのか発信していく必要がある。

◎ 委員

自治会の活動は、回覧板を回しているもので、少しは理解してもらっている。

ネットもあるが、紙で回すのもとても大事。

◆ 事務局

紙の媒体は不必要でなく、必要なものなのでこれからも使っていく。

◎ 委 員

玉名のイベント参加には、LINE登録が必要。その後もいろいろな情報が送られてくるのがいいと思ったので、情報共有させていただく。

また、民間と連携することで解決できることも多くあると思う。東区でも、勉強会や意見交換などをしたい。

◎ 委 員

基本方針 誰もがいきいきと暮らせるまちになるには、障がい者・引きこもりの人達が、地域が一人一人と結びついていく事が大事。

共生社会の大切さ。

◎ 委 員

基本・信頼・ネットワーク3つが豊かなところは、出生率も上がり、犯罪も少ない

◆ 会 長

以上で議事を終了する。